

1 学校教育目標

目指す生徒像：豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒

【学校教育目標達成のための3本の柱】

- (1) 学力の向上を目指し、努力する生徒 (知)
- (2) 豊かな心を持ち、責任感の強い生徒 (徳)
- (3) 進んで体を鍛え、心身共に健康な生徒 (体)

■西中のよき伝統を継承しつつ、未来志向の西中へ

【学校教育目標達成のための具体的な生徒の姿】

■「豊かな心を持った生徒」とは

- 人に対する思いやりと礼儀、感謝の心を持った生徒 (人間愛・他者受容)
- 自他の生命と人権を尊重する心を持った生徒 (人権感覚・共生力)
- ありのままの自分を肯定する心を持った生徒 (自己肯定感・前に進む原動力)

■「学ぶ意欲を持った生徒」とは

- できる喜びを知り、学ぶことが好きになり、楽しく学ぶ生徒 (課題解決能力)
- 好奇心や探求心を持ち主体的に学習に励む生徒 (知的好奇心)
- 将来の夢を持ち、自己実現に向けて粘り強く学ぶ生徒 (夢に近づく力)

■「たくましく生きる生徒」とは

- 仲間とともに課題を解決しながら乗り越えられる生徒 (コミュニケーション能力)
- 心身の健康を大切にして、保持増進する生徒 (体力・健康)
- 自分に自信を持ち、目標達成のために挑戦する生徒 (自己有能感)

□校訓

自治・責任・創造

- 生徒自ら考え、生徒自ら役割を全うし、生徒自ら新たな校風・伝統をつくる学校 (西中ブランド)

2 目指す本校の姿

■目指す学校像

- すべての生徒に喜びと感動を育み、笑顔あふれる西中学校
～生徒の笑顔は私たち教職員の喜び、保護者の喜び、地域の喜び～

■目指す教師像

- 生徒たちの憧れとなる教師 (大人、社会人)
 - ・使命感と情熱を持った教師
 - ・ポジティブな考え、言葉、行動力を持った教師
 - ・教育のプロとして自己研鑽に励み、上昇志向のある教師

■目指す教師集団像（教師同士のリスペクト）

○4つのW

チームワーク（風通し・支え合い）、フットワーク（初期対応、スピード感）、ヘッドワーク（みんなで考える）、ネットワーク（縦横のつながり）

■生徒と教師の共通行動（西中スタンダード）

○「時を守り」（約束）、「場を清め」（環境）、「礼を正す」（礼儀）

3 学校経営方針

（1）基本方針

生徒一人ひとりが喜びと感動を味わい、将来の夢を思い描けることができ、保護者や地域の願いや信託に応える学校経営の実践

- ① 生徒一人ひとりを主語とする学校教育を実現する。
- ② 公教育の使命と責任を自覚し、学校教育目標及び目指す学校像の具現化を図るために、全教職員が協働の意識を持ち、組織的な取組を展開し、一体感ある教育を実践する。
- ③ 学習指導の工夫・改善に努め、生徒の学ぶ意欲を向上させ、生徒一人ひとりに確かな学力の定着と向上を図る。学習指導要領に基づき、年間指導計画に沿って学習指導を展開する。
- ④ 常に生徒理解に努め、生徒が思い描く夢や希望、願いを受け止め、実現を支援する。特別な支援を要する生徒は、全教職員の共通理解により教育的ニーズに基づく必要な支援を生徒一人ひとりに対して丁寧に行う。
- ⑤ 働き方改革を推進し、教職員がやりがいを感じ、明るく元気に働けることができるようにする。
- ⑥ 学校・家庭・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。保護者にとって「西中に通わせてよかった」、地域にとって「地域の誇りと思える学校」を構築し、学校、地域、保護者相互の信頼を深める。

4 令和7年度の重点

「誰一人取り残さない西中の教育～すべては学校は楽しいと実感できる生徒の育成のために～」

■校内研修テーマ（2年目）

「不登校、いじめ未然防止、支援・支援継続率100%を目指す学級・学年経営」

■プロジェクトチームの発足（新規）

学びの保障プロジェクト・いのちの教育プロジェクト・学級経営力向上プロジェクト
※いずれか1つのプロジェクトに所属し、西中の学校課題を全員で考え、解決するプロジェクトを発足

(1) 生徒一人ひとりの確かな学力を培う学習指導の実践

「面白い（興味・好奇心の醸成）」から「楽しい（満足感）」への発展「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現及び「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- ① ICT 機器の有効活用
- ② 授業に集中できる教室環境（UD視点等）の整備、学習規律の確立
- ③ 基礎的・基本的な知識、技能の確実な習得（指導目標の明確化、見通しと振り返り、体験的・問題解決的な学習、言語活動の充実）
- ④ 家庭学習など自学習の習慣化

(2) 豊かな心を育てる生徒指導の充実

- ① 生徒一人ひとりを大切にしたい愛情あふれる粘り強い積極的な生徒指導
- ② 生徒との信頼関係を基盤とした、生徒一人ひとりの確かな生徒理解に基づく生徒指導
- ③ 同一姿勢・同一歩調による組織で取り組む生徒指導（初期対応、スピード感、誠意）
- ④ 非行・問題行動、いじめ等の生徒指導上の諸問題の早期発見・早期対応による丁寧な生徒指導
- ⑤ 誰も排除しない人権感覚の高揚を図り、差別や偏見、いじめを生まない共生社会に生きる豊かな人間関係づくりの構築
- ⑥ 教職員の率先垂範による背中での指導と言葉による指導技術の向上
- ⑦ 生徒会活動や学校行事など、生徒が主体となり自治的な活動への支援
- ⑧ 道徳教育、ライフスキル教育を基盤とした心といのちの教育の充実

<p>■道徳の視点</p> <p>「考え議論する道徳」の推進</p> <p>「問題解決的な道徳」の推進</p> <p>「体験的な道徳」の推進</p>	<p>■ライフスキル教育の視点</p> <p>意思決定と問題解決の思考</p> <p>批判的思考とクリエイティブ思考</p> <p>コミュニケーションと対人関係</p> <p>自己認識と共感性</p> <p>ストレスや感情との向き方</p>
--	--

(3) 生徒一人一人に寄り添った教育相談の充実

- ① 不登校の生徒の社会的自立と学校復帰への支援
- ② いじめ等問題行動の早期発見・早期指導と継続指導、心のケアの充実
- ③ 個に応じた教育相談体制の確立（外部機関等との連携）
- ④ 特別な配慮が必要な生徒への共通理解と組織的な対応の充実
- ⑤ 新たな不登校生徒を出さないための積極的な支援

(4) 誰一人取り残さない学年・学級経営の充実

- ① 集団の一員としての自覚を深め、一人ひとりを認める集団づくりの推進
- ② 生徒一人ひとりを把握し、よさや可能性を伸ばす指導の実践
- ③ 所属感、自己肯定感、自己有用感を高める集団づくり
- ④ 3年間を見通した指導計画に基づいた進路指導・キャリア教育の充実

⑤ 日頃の生徒一人ひとりへの声掛けの実践

(5) 安心・安全な学校づくり、命を守る安全教育の推進

- ① 自ら危険を予測し回避できる、主体的に行動する生徒の育成（生活安全、交通安全、災害安全）
- ② 実践的な防犯や防災避難訓練等の実施と実効的なマニュアルの構築
- ③ 学校施設の日常的な安全管理、安全点検の確実な実施（学校施設事故ゼロ）

(6) 健やかで健康な体の育成の推進

- ① 心や体の健康に関する保健指導、保健学習の充実
- ② 歯の治療等、健康診断の事後指導の徹底
- ③ 生きる力の源である体力の向上

(7) 学校美化意識の向上と教育環境の充実

- ① 日常の清掃活動、美化活動を徹底し、誰もが過ごしやすいきれいな学校の構築
- ② 感性を育む生徒作品等、より良い教育環境づくりを目指した掲示教育の推進
- ③ 修繕個所の早期改修（あるべきものが、あるべき姿であるか）

(8) 開かれた学校づくりの推進

- ① 学校運営協議会、地域、PTA、後援会等の連携の推進
- ② 保護者との連携を密にした信頼関係づくりの構築
- ③ 地域の教育力や人材の積極的な活用、地域行事等への生徒参加の推進
- ④ 近隣小学校や地域関係施設との連携、交流の推進
- ⑤ 学校だよりや学年通信等の積極的な配信、学校ホームページの定期的な更新と内容の見直し

(9) 教育公務員として

- ① 使命感を持ち、自覚と責任、全体の奉仕者としての職務の遂行
- ② 研究と修養、自己研鑽による資質と指導力の向上
- ③ すべての信頼を失う教職員事故の防止（交通事故防止、体罰・暴言の根絶、個人情報
の適切な取扱い、わいせつ行為の禁止、パワーハラスメントの禁止、公金の取扱い等）

(10) 温かく潤いのある職場と活力ある組織を確立するために

- ① 教師自身がやりがいを感じ、明るく元気に働けることができる「働き方改革」の推進
- ② 教師間の縦、横の連携が図られる、風通しのよい職場づくり
- ③ 「報・連・相・見届け」を確実に実践する職場づくり
- ④ 年次休暇等の計画的な取得やさまざまな制度を活用し、自己の健康や余暇の活用、家
族を第一に考えることができる職場づくり
- ⑤ 互いにリスペクトして、同僚を大切にし、支え合う職場づくり